

1

沿革

- 昭和26年 7月 予防、環境及び薬務の3課に属していた各試験室を統合し、大分県衛生研究所として発足
- 昭和28年 8月 大分市寿町に独立した新庁舎が完成
- 昭和29年10月 組織改正により庶務及び試験検査2係制となる。
- 昭和33年 4月 組織改正により化学試験及び細菌検査の2課制となる。
- 昭和41年 4月 組織改正により庶務、化学試験及び細菌検査の3課制となる。
- 昭和45年 4月 組織改正により化学試験課及び細菌検査課がそれぞれ部に昇格
- 昭和45年 7月 大分市大字曲 芳河原団地に新庁舎が完成
- 昭和46年 5月 機構改革により大分県衛生研究所に公害検査部を新設し、1課3部制となった。また、県下の試験研究機関が、公害に関して有機的連携が図られるよう機構が改められ、大分県公害センターが発足し、6部制となり、各試験研究機関の専門者が部長兼務として発令される。
- 昭和48年 3月 大分市大字曲 芳河原団地に公害センター庁舎が完成
- 昭和48年 4月 機構改革により10部1課制となり、大分県公害衛生センターとして発足
- 昭和52年 4月 組織改正により細菌部が微生物部となる。
- 昭和62年 5月 組織改正により化学部に理化学科と食品衛生科、微生物部に細菌科とウイルス科、大気部に大気科と情報調査科、水質部に水質科と環境生物科を新設して、10部1課8科制となる。
- 平成 3年 5月 衛生環境研究センターに名称が改められ、組織改正により5部及び全科が廃止され、管理部が管理情報部となり、管理課及び企画情報課を設け、技術部門の化学部、微生物部、大気部及び水質部と併せて5部2課制となる。
- 平成12年 3月 特定化学物質分析棟が完成
- 平成12年 4月 組織改正により管理情報部が管理部となり、企画情報課が廃止され、新たに企画・特定化学物質部を設け、6部1課制となる。
- 平成14年 4月 組織改正により管理課が廃止され、6部制となる。
- 平成15年 3月 大分市高江西2丁目8番に新庁舎が完成し、芳河原団地から移転
- 平成18年 4月 組織改正により6部制が廃止され、企画・管理担当、化学担当、微生物担当、大気・特定化学物質担当及び水質担当の5担当制となる。
- 平成30年 4月 特定化学物質の分析業務を廃止
- 令和 2年 3月 特定化学物質分析室を一般分析室に改修
- 令和 3年 4月 大分県気候変動適応センター研究部を設置